

(様式7-3)


政務調査活動・先進地調査等 報告書

平成31年1月17日

三田市議会議長

様

本会派（私）は、政務調査活動・先進地調査等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	新政みらい	代表者	田中一良	印
		議員名	北本節代	
派遣者氏名				
視 察 先	山口県 光市、 周南市			
調査事項 (調査目的)	○ 特色ある給食センターについて ○ 公共施設再配置の取り組みについて			
日 時	平成31年1月15日(火)～平成31年1月16日(水)			
視察先応対者	別紙			
添付資料	. . . .			

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、派遣者氏名は不要)

調査日時

4/31年 / 月 / 15日 (火) / 13時30分~15時00分

視察先

〔山形県 光市〕 人口 51,602人

瀬戸内の温暖な気候や豊かな自然環境に恵まれ、海岸部は瀬戸内海国立公園に山内部は石城山国立公園に指定されており、平成16年の合併により「光市」として誕生。

調査事項

特色ある給食センターについて

(調査結果の概要及び所見)

2ヶ所の学校給食センターから、小・中学校16校に給食を提供しているが、供用開始後30年以上経過し老朽化が著しいため、合併特例債を活用して、新たな学校給食施設の整備に着手。

最大調理能力 約 2500食/日 小学校11校、中学校5校 3900食/日 配送  
センターの運営については、業務委託

地産、地消の推進と調理方法の多様化や食物アレルギー対応食の提供などに取り組んでいる。

和室物室、野菜下処理室、魚肉下処理室等が完備され、品目ごと衛生面に配慮した設計と炊飯室、製パン室、アレルギー対応室もあり、炊飯と製パンが給食センターで製造され、残りを産地へ出荷してパンを提供している

パンについては、地産からの仕入だが自家製に引パン単価が約30円/個で、その金額を主菜、副菜に投入でき、給食1回につき約12円/食の向上が図られること、炊飯についても地元産米をセンターで炊き上げることは難いことである。市内の団体、グループ2ヶ月に1回給食試食会を募集し開催し施設を活用した食育の取り組みも導入している。アレルギー対応では、卵と乳が主であり、今後対応アレルギーの種類が増加することが課題であると説明。

三田市では、地元パン業者がパンと炊飯を担っているが、手作りのパンを三田の子供に是非食べさせてあげたいと強く思った。ご飯も給食センターで炊飯し、ジャート入れて配達することによって、温かいご飯が提供できるのではないかと感じた。

三田市の給食の「ここが素晴らしい！」と言えるアイデアと工夫を知恵をおし合わせて考えていきたい。給食試食会を実施することも食育の取り組みとして大いに実現してほしい。保護者や市民の方にも知ってもらうこと、三田市の給食センターの充実を取り組みこそが食育支援にもつながるのではないかと感じた。

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、派遣者氏名は不要)

調査日時

4/31年1月16日(水) 10時00分~12時00分

山口県周南市

視察先

人口143,827人 4/15年4月2市2町が合併し「周南市」誕生  
海岸線に沿って大規模工場が立地、比較的幅の狭い市街地、緑豊かで  
なだらかな丘陵地と広大な山稜に農山村地帯が散在している。  
瀬戸内海国立公園区域に指定されたなど自然豊かで美しい景観を有している。

調査事項

公共施設再配置の取り組み

(調査結果の概要及び所見)

今ある公共施設を全て維持しようとすると今後40年間で5886億円が必要  
厳しい財政状況を考慮すると約30%にあたる1766億円が不足する試算になる。  
不足額の解消のため「公共施設再配置計画」を17年8月に策定。

この再配置計画は、市と市民が情報を共有し実践する取り組みが重要であり、  
面積が広大で多種多様な住環境を持つ市では、それぞれの地域に合った  
方法で、みんなが一緒に考えることが大切であると進めている。

それぞれに対して、21回ほど説明して理解を得ている。再編整備について、地域  
住民、受益者と共にしっかり方向性を示していることとしている。

財政状況の苦しい状況は説明会の中で、公共施設再編、再開発していかないと  
ならない一定の理解は得られる。しかし自分たちの住んでいる地域の個別の施設の  
ことになると個々の考えの主張がある。

行政と住民が対立してはダメ！ 行政がアドバイスをしていく。行政は行政としての  
考えがあるのでその前に十分話をする必要はある。

地域コミュニティをもう1回再生していくと言っている意味この公共施設の  
再開発を進めている上で必要であると痛感している。何回も繰り返し  
理解をしてもう一回こういっていかないと説明を受けた。

三田市に於いて一番は市民への説明不足ではないかと感じる。

周南市では、市民とわかり易いマンガで公共施設白書や再配置計画、再配置の  
取り組み等市内全世帯6万戸に配布している。

非公共施設再配置を進めている地域には、かわら版を発行して、周知啓発している。  
ノウハウは他市の取り組みも研究しながら、市民の理解を得られる努力をしてほしい。  
学校の統廃合も含め公共施設を取り巻く状況は(他市に於いても直面している課題で  
ある)施設が老朽化している。人口減少、高齢化、そして社会情勢の変化等、10年20年  
先を見据える。しかし地域の方にはそれが描けない。だから急ぐ必要はない。  
時間がかかっても話し合いが必要だと感じた。

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、派遣者氏名は不要)

# 光市の給食について

- 給食センターの概要
- 給食センターの取組みについて
- 目指すべき光市の給食

光市立学校給食センター

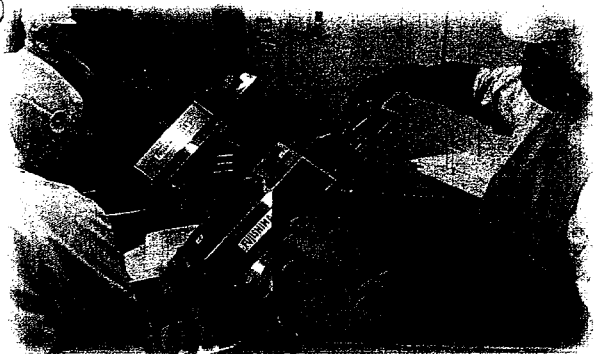
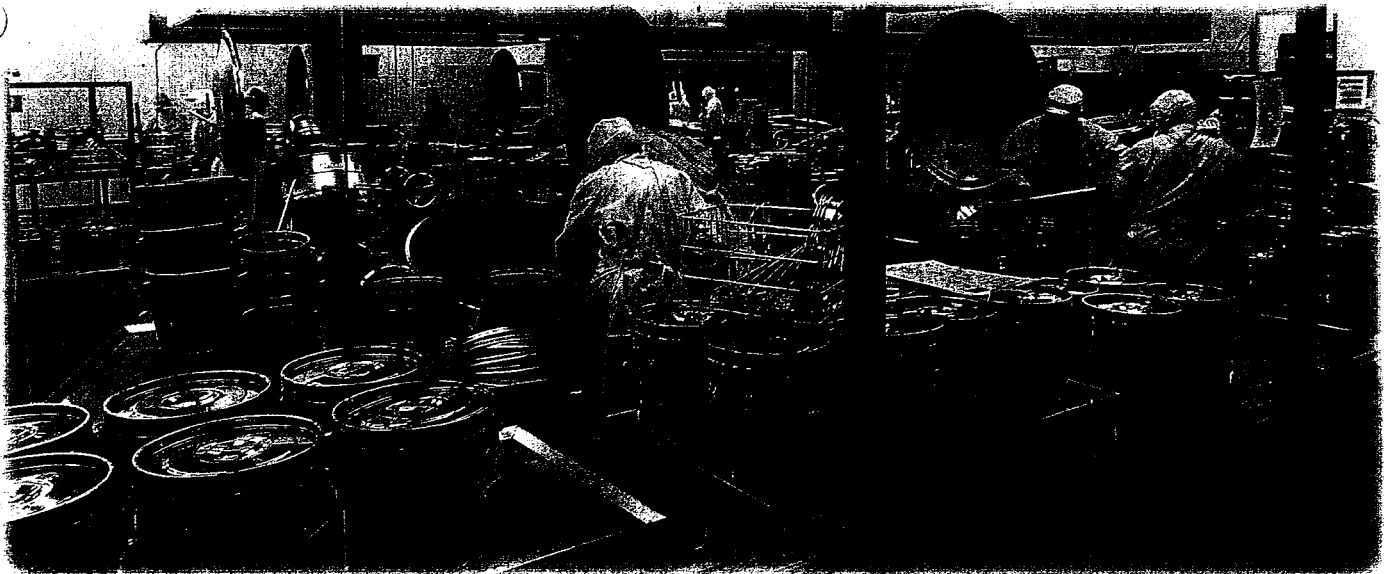
## 光市立学校給食センター概要①

	旧光市域 (旧光センター)	大和町域 (旧大和センター)	光市立学校給食センター 平成30年度
食数	約3,420食	約480食	約3,900食
配送校	11校	5校	16校
小学校	7校	4校	11校
中学校	4校	1校	5校



# 光市立学校給食センター

市内小中学校 16校の給食を調理しています。



## ○光市立学校給食センターの基本方針

安全・安心な学校給食

栄養バランス・多様性に配慮した学校給食

食育の推進

長期的な安定運営



# 公共施設再配置計画の内容について

33

## 公共施設再配置計画策定について

■行政改革推進本部・議会特別委員会を経て策定

策定時期：平成27年8月 ※県内2番目

総ページ数：317ページ

対象施設：

- 庁舎、市民交流、文化、スポーツ、こども関連、福祉、学校、公園、墓地、インフラ系ハコモノ等を含め

1,114施設 84万9,016㎡

- 道路、橋梁、上下水道管渠、漁港施設、河川、農道、林道



平成30年度版  
周南市の概要



周南市議会